

[シンポジウム] グローバル人材を活用した関西の活性化
を考える-関西の成長戦略: Human Capitalの視点から-

パネルディスカッション

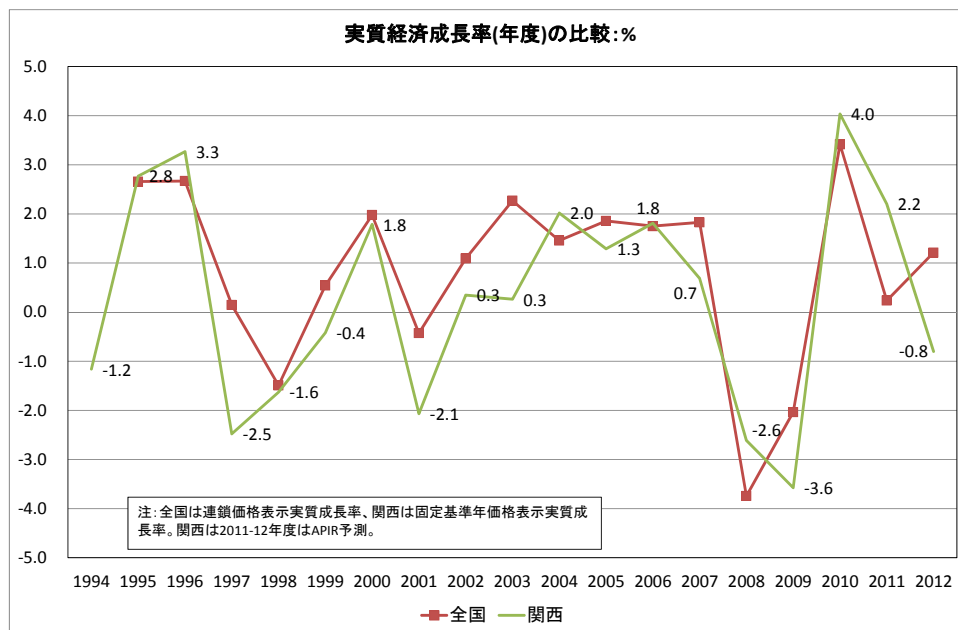
『関西は留学生の集積拠点になりうるか?』

稲田義久

アジア太平洋研究所研究統括/甲南大学教授
inada@konan-u.ac.jp

1

低迷する関西経済 多くの年で全国の成長率を下回る



2



シンポジウムの問題意識

- 潜在成長率が低すぎる: 成長戦略第3弾のスピーチ
 - 今こそ、日本が世界経済復活のエンジンとなる時
 - 民間活力の爆発
 - 日本は再び世界の真ん中で活躍できる
 - 「スピードが違う」、「次元の違う」政策を主張しているが
2%成長は2%成長: 前政権との違いは?
- 留学生は重要な役割: 成長戦略第2弾のスピーチ
 - 「世界で勝つために」: もう一つの鍵は、世界の技術、人材、資金を、日本の成長に取り込む
 - 「世界に勝てる」人材を育成: Human capitalの質改善

3

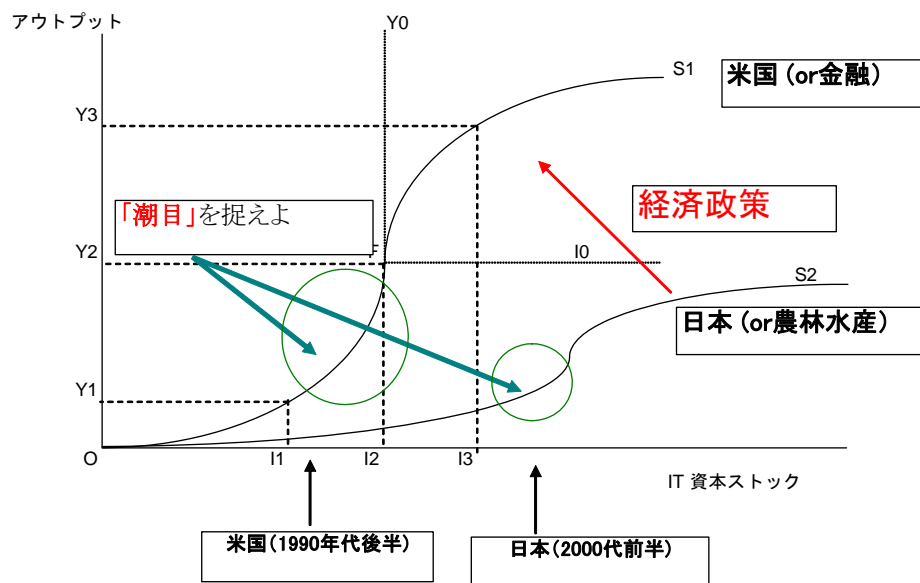


続き

- 潜在成長率の引き上げに必要なもの
 - ITの深化とhuman capitalの質改善
- 長い間の低成長に慣れ、高成長が無理と考える
"Moral Consequence of Economic Growth"からいかに脱出するか
- 海外諸国も納得し、日本国民が希望の持てる成長戦略を構築
- シンポではとくにhuman capitalの質の改善が潜在成長率を引き上げるという観点から、高度外国人材(留学生)を取り上げる。これまでの取り組みを概観し、問題・課題を検討し、政策的な実現可能性を議論

4

成長戦略のイメージ: ITの深化とS字型生産関数



L.R.Klein, F.G.Adams, Kumasaka Yuzo and Akihiko Shinozaki (2007): Accelerating Japan's Economic Growth: resolving Japan's growth controversy, Routledge

5

日本は3%を超える経済成長が可能なのか？

- ITの深化と人的資本の質改善を明示的に生産関数、マクロ経済モデルに導入することで、3%を超える経済成長の可能性が実証される
- 内生的技術進歩が重要
- IT深化による資本の質の向上が重要
- あわせて、人的資本の質の向上が必須

資料: 日本経団連・21世紀政策研究所プロジェクト(2008) “IT革新による日本産業への影響” —日本経済の3%成長実現への影響—, 熊坂有三, L.R. Klein and G.F. Adams

6



成長戦略の分析視点

- (域内)産業の高付加価値化に向けた「ブランド化」の促進が期待できるか
- ITの効果的活用による意思決定の迅速化が図られているか
- 企業の海外市場での展開を担う人材の強化が図られているか: human capital
- 成長するアジア諸国の所得の取り込みが図られているか

7



イノベーションに向けた関西のナレッジと挑戦

- 国際戦略総合特区: 関西イノベーション国際戦略総合特区
 - 関西のポテンシャルをいかし
 - 6つのターゲットを実現
- 新たな「国家戦略特区」へ対応
- 関西のナレッジと挑戦
 - 関西の留学生拠点化とツーリズム戦略

8

外国人留学生受入れに係る現状と取組



文部科学省 高等教育局 学生・留学生課

大川 晃平



文部科学省
MEXT
MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



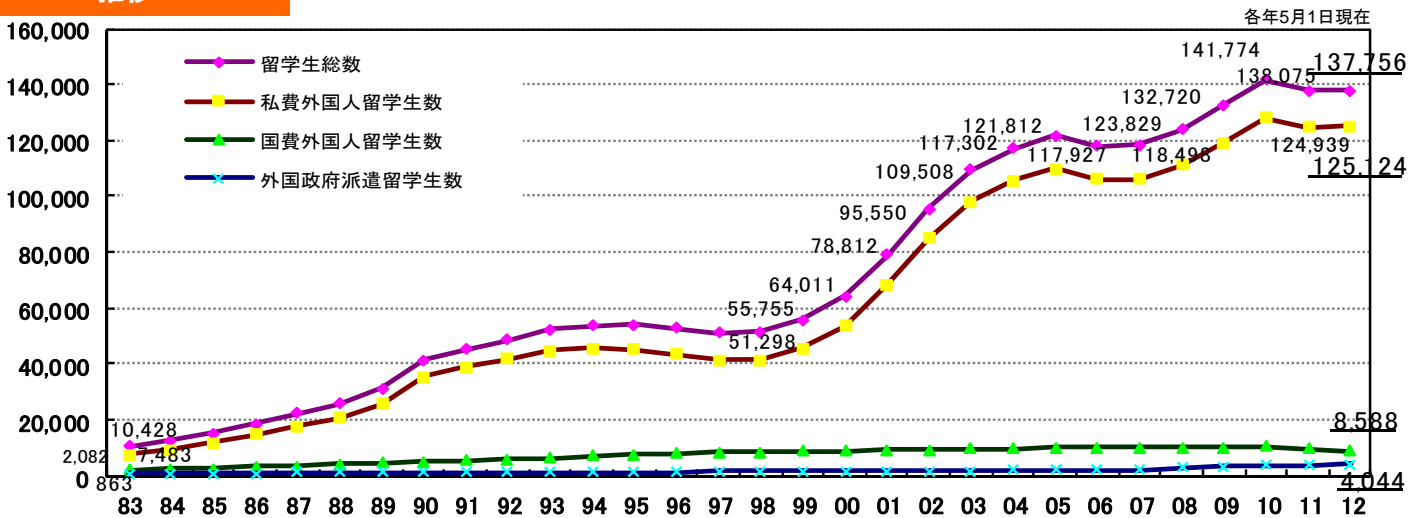
STUDY in JAPAN

現 状

外国人留学生の受入れの現状 (1)

推移

(日本学生支援機構調べ)



出身国・地域別

2012年5月1日現在

国・地域名	留学生数	(前年数)	国・地域名	留学生数	(前年数)
中国	86,324	(87,533)	インドネシア	2,276	(2,162)
韓国	16,651	(17,640)	タイ	2,167	(2,396)
台湾	4,617	(4,571)	米国	2,133	(1,456)
ベトナム	4,373	(4,033)	ミャンマー	1,151	(1,118)
ネパール	2,451	(2,016)	その他	13,294	(12,733)
マレーシア	2,319	(2,417)	合計	137,756	(138,075)

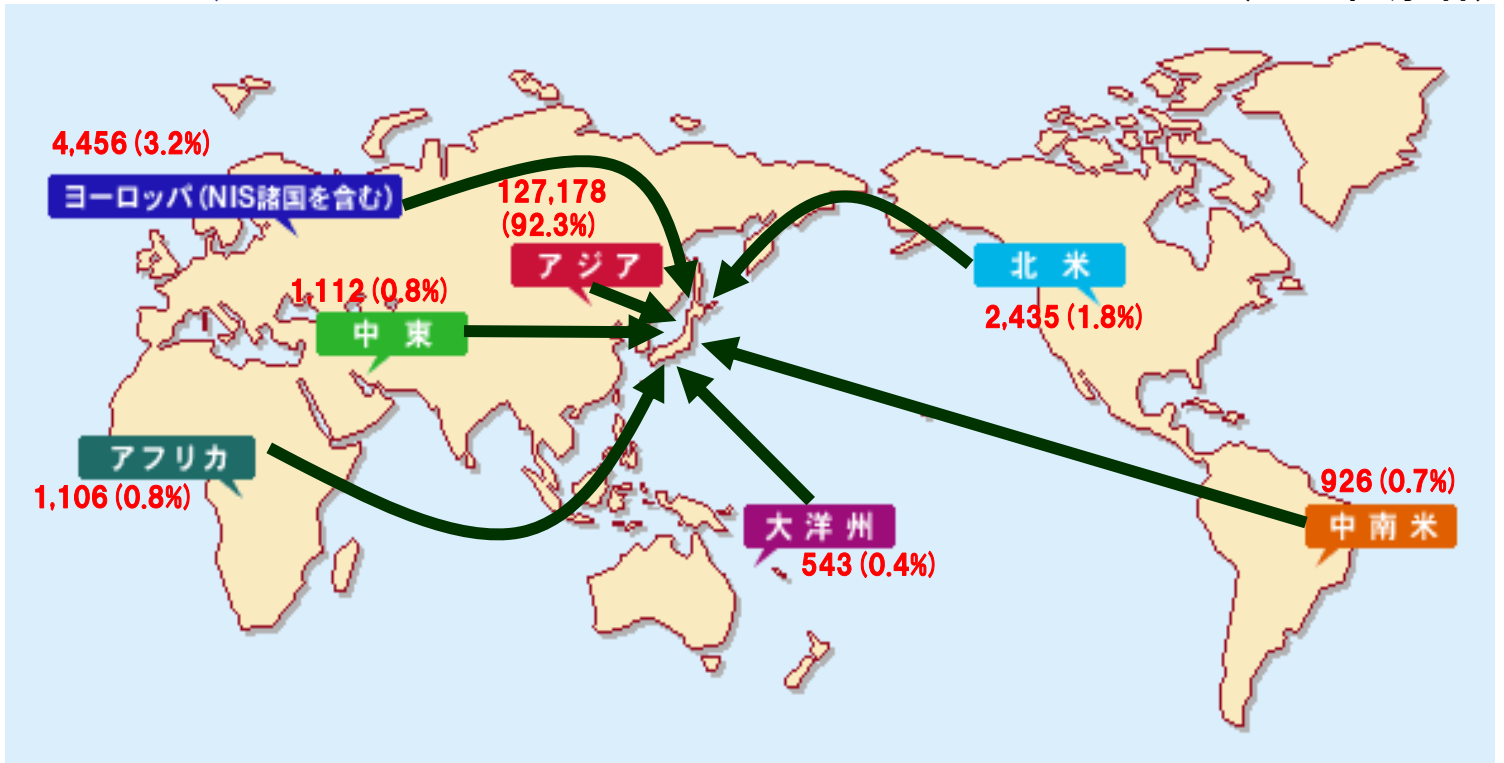
2

外国人留学生の受入れの状況 (2)

外国人留学生の受入の状況

Total: 137,756

(2012年5月1日)

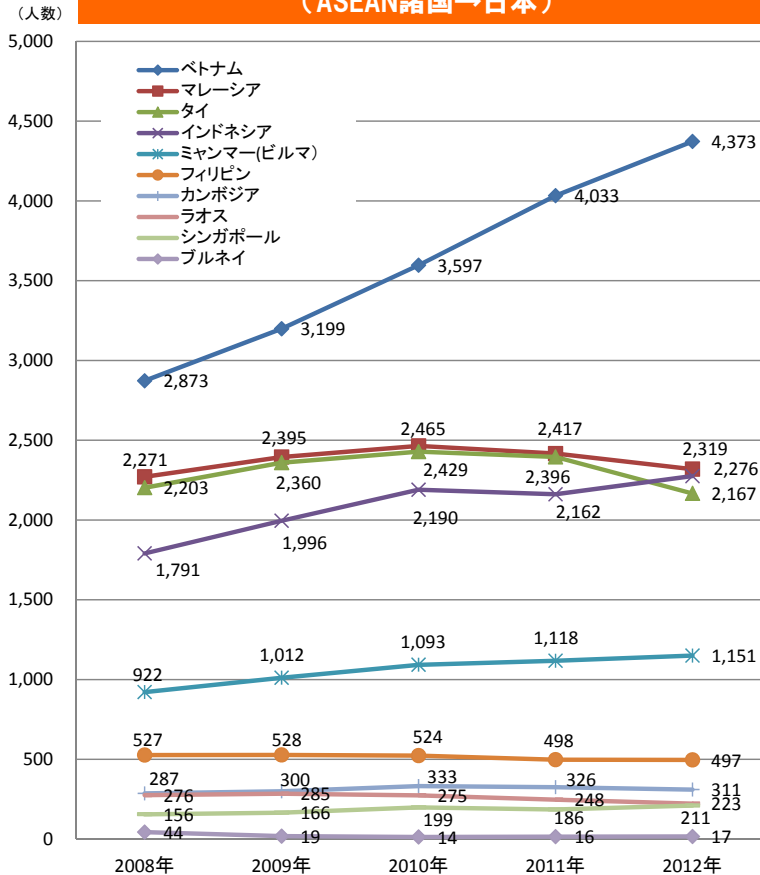


出典: 日本学生支援機構「留学生調査」

3

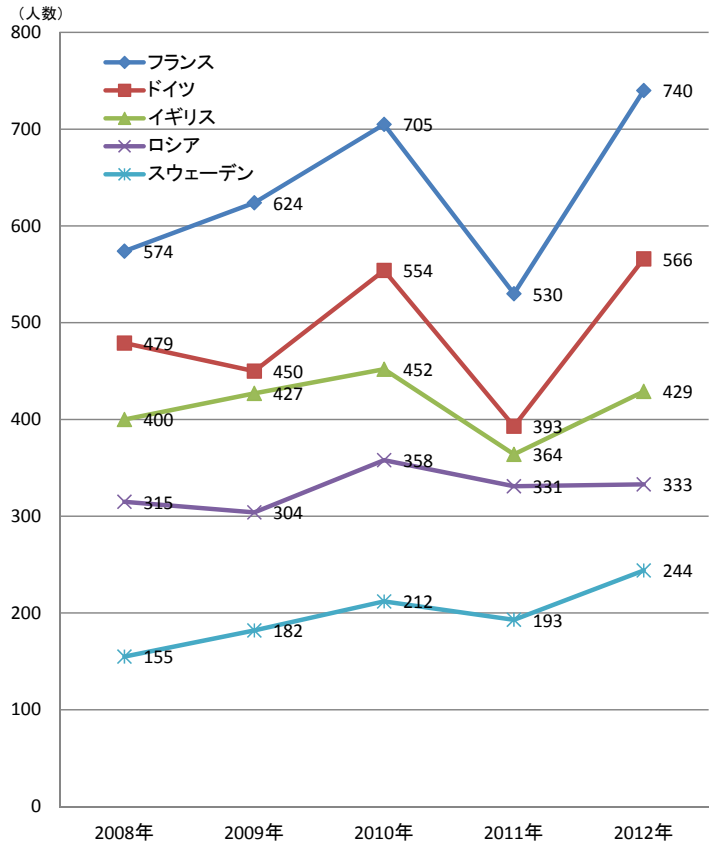
地域別 外国人留学生の受入れ数の推移

ASEAN諸国から日本への留学生受入れ数推移 (ASEAN諸国→日本)



出典: 日本学生支援機構「留学生調査」

欧州から日本への留学生受入れ数推移 (欧州→日本)

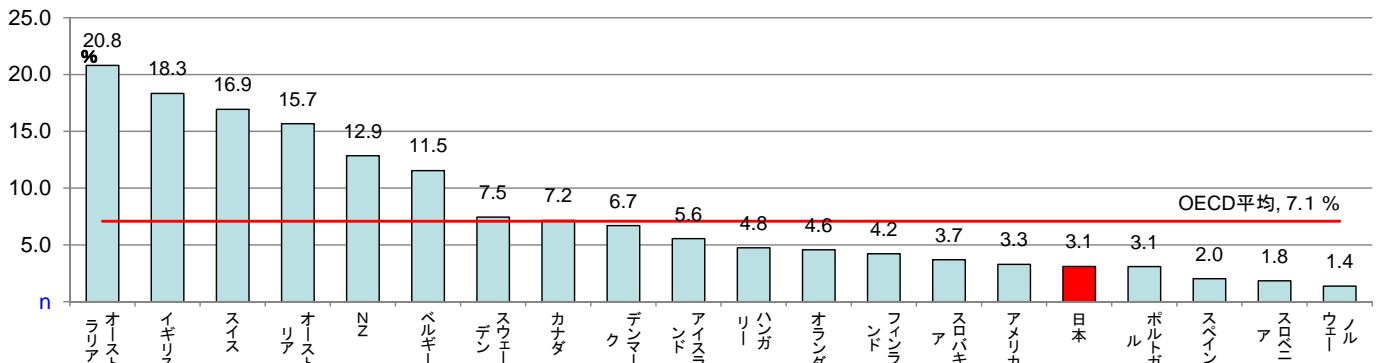


4

各国の学生に占める留学生の内訳

大学型高等教育(主に学士課程・修士課程)

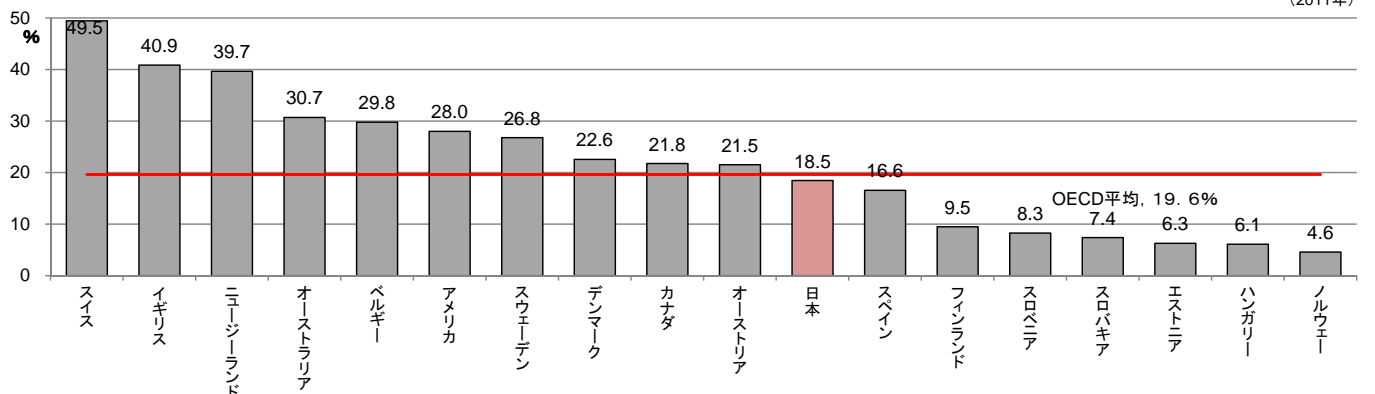
(2011年)



OECD「Education at a Glance 2013」

上級研究学位(主に博士課程)

(2011年)



(対象となる学校種は、国によって高等教育制度が異なるが、通常、大学の博士課程) OECD, 「Education at a Glance 2013」

5

取組

外国人留学生の受入促進(1)

学生への経済的支援

○国費外国人留学生制度

我が国と諸外国との国際交流を図り、相互の友好親善を促進するとともに、諸外国の人材養成に資することを目的として、外務省及び在外公館と協力し世界中から幅広く日本へ留学できるよう奨学金を支給。

(平成25年度予算案:187億円、11,006人(平成24年度:10,775人))

○文部科学省外国人留学生学習奨励費

学業、人物ともに優れ、かつ経済的理由により修学が困難である者に対して学習奨励費を給付することにより、学習効果を一層高める。

(平成25年度予算案:64億円、10,100人(平成24年度:10,632人))

○日本人学生の海外派遣と留学生短期受入れを一体とした交流事業

・短期受入れ分(1年以内) 5,000人 (平成24年度:7,740人)

- ・ 地域に着目した積極的な受入れを促進。

大学の体制整備の支援

○留学生受入れのための体制の整備

- ・ 英語による授業のみで学位が取得可能なコースの整備
 - ・ 海外共同事務所を通じた日本留学のためのワンストップサービスの提供 等
(ロシア、チュニジア、インド(2カ所)、ウズベキスタン、ベトナム、エジプト、ドイツ)
- (平成25年度予算案:23億円(13大学))

- ・ 13大学で得られた成果を他の大学へ共有。

○アジア・米国等の大学との国際教育連携の支援

(平成25年度予算案:28億円(55件))

- ・ 欧州(ICI-ECP)・東南アジア(ASEAN諸国等)との連携を強化予定。

外国人留学生の受入促進(2)

留学生への情報提供

○日本への留学フェアの実施

〔開催国・地域(平成24年度)〕

中国、韓国、台湾、ベトナム、タイ、インドネシア、マレーシア、モンゴル、ネパール、バングラデシュ、ミャンマー、アメリカ、欧州(アイルランド)

○ホームページの開設

(独)日本学生支援機構(Gateway to Study in Japan)と外務省(Study in Japan)の連携により情報発信。

留学生の受入れ環境の整備

○地域で留学生が交流し充実した留学生活を送るための街づくりへの支援

〔採択した7拠点(平成24年度)〕

山形大学、埼玉大学、関西大学、岡山大学、山口大学、大分大学、長崎大学

○留学生宿舎・交流拠点の整備

東京国際交流館等の活用等。

(東京国際交流館)



外国政府が派遣する留学生の積極的な受入れ

○留学生の受入れの促進

外国政府派遣留学生の受入れにあたり、大学等への連絡・調整等を行い、積極的に受入れ。

• 成果を全国に普及。

• 東京国際交流館等の今後の活用を検討。

• ブラジル(「国境なき科学」オーストラリア(Asia Bound 1万人)等との連携を促進。

8

留学情報の収集・提供

1. 意義、重要性

海外においてより多くの学生が、日本留学に興味を持ち、また自らの留学目的に合った教育機関を選択して、実りある留学を達成できるようにするためには、我が国の事情や各大学等の教育・研究上の特色等に関する適切な情報を提供することが重要。

2. 各事業の趣旨・概要

(1) 日本留学説明会(日本留学フェア)

アジア諸国等の学生が日本留学を志し、かつ、留学希望に合った大学(短期大学を含む)・コースを選択し、実りある留学を達成できるようにするため、留学希望者及び進学指導者等を対象に、我が国の大学等の参加を得て、我が国の高等教育に関する情報及び個々の大学の教育、研究上の特色等に関する最新で的確な情報を提供し、我が国への留学の促進を図る。

(2) 外国人学生のための進学説明会(国内)

我が国の大学等の協力及び参加を得て、大学を始めとする我が国の高等教育機関等に入学を希望する外国人学生(主に日本語学習者)に対し、大学を選択、入学準備等、適切な進学指導を行うことを目的として、東京及び大阪で進学説明会を実施。

(3) 海外における情報提供

i) 海外拠点留学促進事業(海外4か国4都市)

海外(マレーシア(クアラルンプール)、タイ(バンコク)、インドネシア(ジャカルタ)、韓国(ソウル))において、日本留学フェア及び日本留学試験の実施に関し、現地関係諸機関との連絡、開催準備、広報等を行うとともに、国内外の留学希望者に対し、日本留学に関する各種の情報提供を行っている。

ii) 日本留学促進資料公開拠点(20か国・地域、54か所)

事務所を設置していないアジア地域の都市において、在外日本公館、元日本留学生による帰国留学生会、大学の図書館等を日本留学促進資料公開拠点として依頼し、資料を寄贈、日本留学関連の資料の公開による情報提供を行っている。

(4) インターネットによる情報提供

情報提供の効率化、迅速化を図るため、日本留学ポータルサイト「Gateway to Study in Japan」(<http://www.g-studyinJapan.jasso.go.jp/>)を開発し、大学情報や奨学金など入学時に必要な情報から、宿舎など日本での暮らし、就職など卒業・修了後の進路に至るまで、日本留学に関する総合的な情報の提供を行っている。

(5) 出版物等による情報提供

Student Guide to Japan(日本留学情報パンフレット)、Index of Majors(大学専攻別索引)、等の日本留学に関する各種の出版物の無料配布や、英文大学案内サービス(Webサイト)によって留学希望者、関係機関などに対して情報提供を行っている。

また、日本留学をより分かりやすく紹介するためのDVDを作製し、説明会等で使用している。

9

日本留学に関する説明会等実施(平成25年度)

◆ 外国人学生のための進学説明会

開催月日	国・地域	都市	会場
7/14(日)	日本	東京	池袋サンシャインシティ展示ホール
7/21(日)		大阪	グランキューブ大阪イベントホール

◆ 日本留学フェア

開催月日	国・地域	都市	備考
8/30(金)	タイ	チェンマイ	
9/1(日)		バンコク	
9/7(土)	韓国	釜山	(財)日本語教育振興協会、全国専修学校各種学校総連合会、(公社)東京都専修学校各種学校協会との共催
9/8(日)		ソウル	
9/11(水)～9/13(金)	欧州 (トルコ)	イスタンブール	大学間交流促進プログラム (European Association for International Education(EAIE)総会への参加)
10/26(土)	インドネシア	スラバヤ	
10/27(日)		ジャカルタ	
11/2(土)・3(日)	中国	北京	中国教育国際交流協会(CEAIE)主催中国国際教育展への出展
11/9(土)・10(日)		上海	
12/7(土)・8(日)	マレーシア	クアラルンプール	FACON国際教育展への出展

◆ 日本留学セミナー

開催日	国・地域	都市	備考
8月	中国	香港	在外公館、帰国留学生会との共催
10月	モンゴル	ウランバートル	在外公館、帰国留学生会との共催
10～11月	バングラデシュ	ダッカ	在外公館、帰国留学生会との共催
2月	ネパール	カトマンズ	在外公館、帰国留学生会との共催
2～3月	ミャンマー	ヤンゴン・マンダレー	在外公館、帰国留学生会との共催
3月	中国	都市未定	中国留学服務中心(CSCSE)主催中国国際教育巡回展への参加

外国人留学生に対する就職支援

① 全国就職指導ガイダンス

- 趣旨：大学等卒業予定者の就職・採用に関し、情報交換会及び多様な学生に対応した就職支援等の情報提供を行う。併せて、就職・採用活動について、政府、学校、企業の動向などの状況を共有することにより、就職機会の均等の確保ならびに、円滑な就職指導及び採用活動に資することを目的とする。
- 対象：大学等の就職指導担当者・留学生業務担当者・学生支援業務担当者、大学等関係団体、企業等の採用担当者、企業等関係団体
- 主催：文部科学省・就職問題懇談会・(独)日本学生支援機構
- 協力：厚生労働省・経済産業省
- 開催日：平成25年6月4日(火) (於：東京)
- (参考)平成24年度実績：5月参加者数：928名(学校関係者：576名 + 企業関係者等：352名)
11月参加者数：808名(学校関係者：454名 + 企業関係者等：354名)

② 外国人留学生就職活動準備セミナー(平成24年度まで実施)

- 趣旨：大学等に在籍している外国人留学生の就職活動について、日本人学生に較べ、情報収集、準備等で遅れがちな留学生に対し、あらかじめ日本の採用制度、企業側のニーズ、就職活動の手順を理解させ、それぞれのキャリアデザインに沿った就職ができるよう、留学生の就職・採用活動に関する有益な情報を提供することを目的とする。
- 対象：大学・短期大学・高等専門学校・専修学校に在籍する留学生及び就職指導関係者・留学生業務関係者
- 主催：(独)日本学生支援機構
- 後援：文部科学省、厚生労働省、経済産業省、東京外国人雇用サービスセンター、日本経済団体連合会、日本商工会議所(予定)
- 開催日：第1回 平成24年11月26日(月) (於：東京) 参加者数：443名
第2回 平成24年11月30日(金) (於：大阪) 参加者数：189名

③ 外国人留学生のための就活ガイド

就職活動の準備から、エントリー、採用試験、在留資格の変更、体験談等、外国人留学生が、日本で就職活動をするために必要な情報を、活動の時期に応じて多言語でわかりやすく解説したガイドブックを日本学生支援機構のHPで提供

留学生受入れのための奨学金制度

	国費外国人留学生制度	私費外国人留学生等学習奨励費	留学生交流支援制度(うち受入れ)
1. 目的・趣旨	諸外国の優秀な人材を国費外国人留学生として受け入れ、我が国のグローバル化、諸外国との相互理解の増進と人的ネットワークの形成、我が国の大学等の教育力・研究力の強化、国際的知的貢献を図る。	我が国の大学等に在籍する私費外国人留学生で、学業、人物ともに優れ、かつ、経済的理由により修学が困難である者に対する奨学制度として、奨学金を給付することにより、その学習効果を一層高めることを目的とする。	諸外国の大学との留学生交流の拡充及び各国間の相互理解と友好親善の増進を図るため、大学間交流協定に基づき我が国へ留学する外国人留学生を支援する。
2. 対象者	【大学院レベル】 研究留学生: 大学(学部)卒業以上の者 教員研修留学生: 大学(学部)卒業以上程度の者 ヤング・リーダーズ・プログラム(YLP): 大学(学部)卒業以上の者 【学部レベル】 学部留学生: 高等学校卒業程度の者 日本語・日本文化研修留学生: 大学(学部)に在学中の者 高等専門学校留学生: 高等学校卒業程度の者 専修学校留学生: 高等学校卒業程度の者	【大学院レベル】 大学院に正規生として在籍する者又は大学の学部卒業以上の学歴を有し、かつ、大学院レベルの研究活動を行うため研究生として在籍する者 【学部レベル】 大学の学部、短期大学、高等専門学校第4年次以上又は専修学校専門課程に、それぞれ正規生として在籍する者、大学又は短期大学が設置する専攻科又は留学生別科に在籍する者、我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設に在籍する者、日本語教育機関に在籍する者	【諸外国の大学生等】 諸外国の大学等に在籍しながら、大学間交流協定等に基づき我が国の大学へ留学(1年以内)する者
3. 実施主体	文部科学省	独立行政法人日本学生支援機構	独立行政法人日本学生支援機構
募集・選考	① 募集対象国の在外日本大使館等を通じて募集する大使館推薦 ② 我が国の受入れ大学が大学間交流協定等により募集する大学推薦 ③ 日本で学んでいる私費留学生の中から国費外国人留学生に採用する国内採用 ④ その他(YLPにおける海外の公的推薦機関からの推薦等) それぞれの方法により推薦された者を学識経験者による委員会で選考の上、決定	各大学等が申請した推薦者を実施委員会で審査し、採用を決定。 日本留学試験を受験し、優秀な成績を修めた者を予約採用者として決定し、予約採用者が日本国内の大学等に入学した時、JASSO理事長が決定。	各大学が申請した受入れプログラムを選考し、決定。これを受け、各大学が候補者を推薦。
4. 支援内容	【奨学金(月額)】 博士課程145,000円、修士課程144,000円、 研究生143,000円、学部生117,000円 (地域により3,000円又は2,000円の加算制度有) ほか、渡航費及び授業料 18,707,675千円(平成25年度予算)	【奨学金(月額)】 大学院レベル65,000円 学部レベル48,000円 6,386,556千円(平成25年度予算)	【奨学金(月額)】 80,000円 16,000,000千円(平成25年度予算)

12

第2期教育振興基本計画(平成25年6月14日閣議決定)(抜粋)

未来への飛躍を実現する人材の養成

基本施策16

外国語教育、双方向の留学生交流・国際交流、大学等の国際化など、グローバル人材育成に向けた取組の強化

16-2 高校生・大学生等の留学生交流・国際交流の推進

・ 日本人の海外留学者数の大幅な増加(2020年を目途に日本の海外留学生数を倍増(大学等:6万人から12万人, 高校:3万人から6万人))を目指し, 高校, 大学等における留学機会を, 将来グローバルに活躍する意欲と能力ある若者全員に与えるため, 留学生の経済的負担を軽減するための寄附促進, 給付を含む官民が協力した新たな仕組みを創設する。また, 地域や高校, 大学等における留学情報の収集・提供等の強化を実施するとともに, 関係府省と連携し, 就職・採用活動開始時期を変更し, 留学しやすい環境を整備する。

さらに, 様々な交流機会の提供(外国人留学生と日本人学生・若手社会人との知的交流の促進等)や, 子どもたちに国際的な視野を持たせ, 留学への機運を醸成する取組の充実等を図る。

・ 「留学生30万人計画」の実現を目指し, 大学等の国際化に向けた体制整備, 奨学金等の経済的支援, 海外拠点を活用した留学フェア等の実施, 外国人留学生に対する生活・就職支援等の充実による戦略的な外国人留学生の確保を推進するとともに, 留学経験者の把握等ネットワークを強化するなど, 優秀な外国人留学生の受入れを促進する。

日本再興戦略-JAPAN is BACK-(平成25年6月14日閣議決定)(抜粋)

- 一. 日本産業再興プラン
2. 雇用制度改革・人材力の強化

⑦グローバル化等に対応する人材力の強化

世界に勝てる真のグローバル人材を育てるため、「教育再生実行会議」の提言を踏まえつつ、国際的な英語試験の活用、意欲と能力のある若者全員への留学機会の付与、及びグローバル化に対応した教育を牽引する学校群の形成を図ることにより、2020年までに日本人留学生を6万人(2010年)から12万人へ倍増させる。優秀な外国人留学生についても、2012年の14万人から2020年までに30万人に倍増させること(「留学生30万人計画」の実現)を目指す。

また、産業構造の変化に対応した学び直し等の機会を拡大する。

○意欲と能力のある若者全員への留学機会の付与

- ・ 高校・大学等における留学機会を、将来グローバルに活躍する意欲と能力のある若者全員に与えるため、留学生の経済的負担を軽減するための寄附促進、給付を含む官民が協力した新たな仕組みを創設する。また、支援策と併せて、姉妹校締結や海外の大学と単位互換の取組等、大学の教育環境整備を進めるなど、必要な措置をパッケージとして講ずるための具体策を本年8月末までに検討を進め結論を得た上で、概算要求等に反映させる。
- ・ 就職・採用活動開始時期変更【再掲】を行うほか、多様な体験活動の促進に資する秋季入学に向けた環境整備を行う。
- ・ 留学機会の確保と併せ、優秀な外国人留学生獲得のための海外の重点地域を選定し、大学等の海外拠点の強化や支援の充実による戦略的な外国人留学生の確保を推進するとともに、留学経験者の把握等ネットワークを強化するなど、優秀な外国人留学生の受入れを促進する。

14

外国人留学生への投資が効果的に還元される仕組みの確立

第7回産業競争力会議(4月23日)
下村大臣プレゼン資料
人材力強化のための教育改革プラン(抜粋)

優秀な外国人留学生を確保するための戦略性の強化

- 産業競争力の強化に向け、資源・エネルギー、安全保障、学術等の観点から、**重点地域を設定**

優秀な外国人留学生を確保するための好循環の創出

- 我が国の国力を増大
 - ・ 重点地域での市場拡大
 - ・ 外国人留学生発ベンチャー等による新たな「富」の創造
- 日本のプレゼンスの向上
 - ・ 日本留学の評判の向上とそれに伴う外国人留学生の拡大

KPI: <外国人留学生>
30万人

成果

STEP1

優秀な学生等を
重点地域で確保

- 重点地域の選定と重点地域における海外拠点の整備
 - ・ 20都市程度に設置
- 海外拠点を活用した日本留学の促進
 - ・ 戦略的な日本(日本の大学・専門学校等、日本語、日本文化等)の情報発信(※ クール・ジャパン施策とも連携)
 - ・ 関係機関とのネットワークの構築(現地の優秀な高校との関係強化、大学間協定の促進)
 - ・ 現地における入学者選抜・入学許可の促進
 - ・ 予約権付奨学金の給付拡大
- 日本の大学の体制整備
 - ・ 柔軟なアカデミック・カレンダーの導入促進
 - ・ 科目のナンバリングの設定促進

渡日

STEP2

日本で学修

- 質の高い学修/生活環境の整備
 - ・ 大学の体制整備(優れた外国人教員、学修指導アシスタントの配置等)
 - ・ 国費留学生制度等の奨学金等の拡充
 - ・ 日本各地で知日派をつくるため、地方公共団体等と連携した留学生生活支援体制の整備
- 高等専門学校から重点地域への技術移転に向けた中堅技術者の育成
 <教員・学生の受入れ>

日本で就職
帰国

STEP3

優秀な外国人
留学生の活用

- 優秀な外国人留学生の就職につながる取組強化
 - ・ 日本企業/日系企業による外国人留学生を対象としたインターンシップ等の実施促進
 - ・ 外国人留学生向け就職フェア等の開催
- 日本留学経験者(OB会)のネットワーク形成とそれを活用した日本の良い評判の情報発信

<現地教育機関の運営支援>

15

戦略的な留学生交流の推進に関する検討会の開催について

平成25年3月19日
高等教育局長決定

1. 趣旨

文部科学省の行う留学生交流に係る受入れ・派遣の各施策に関し、現下及び今後の社会情勢等を勘案しつつ、国・地域別の重要性について整理する。また、必要に応じて戦略的な留学生の受入れ・派遣を推進するための意見交換を行う。

この検討に当たり、有識者で構成される会議（以下、「検討会」という。）を以下の要領にて開催する。

2. 検討事項

- ① 国費外国人留学生（大使館推薦、大学推薦等）、留学生交流支援制度（短期受入れ）として戦略的に採用すべき国・地域
- ② 外国政府派遣留学生の派遣状況を勘案しつつ、戦略的に受け入れる国・地域
- ③ 留学生交流支援制度（短期派遣）として戦略的に採用すべき国・地域
- ④ その他留学生戦略に関すること

3. 構成及び運営

- ① 検討会は別に定める有識者等の協力を得て、「2. 検討事項」について検討する。
- ② 検討会に主査を置き、ワーキンググループに属する委員の互選により選任する。
- ③ 検討会の運営に関する事項及びその他必要な事項は、検討会において定める。

4. 設置期間

平成25年3月26日から平成26年3月31日までとする。

5. 庶務

会議に関する庶務は、高等教育局学生・留学生課において処理する。

16

参 考

「留学生30万人計画」骨子の概要

ポイント

- ★ 「グローバル戦略」展開の一環として2020年を目途に留学生受入れ30万人を目指す。
- ★ 大学等の教育研究の国際競争力を高め、優れた留学生を戦略的に獲得。
- ★ 関係省庁・機関等が総合的・有機的に連携して計画を推進



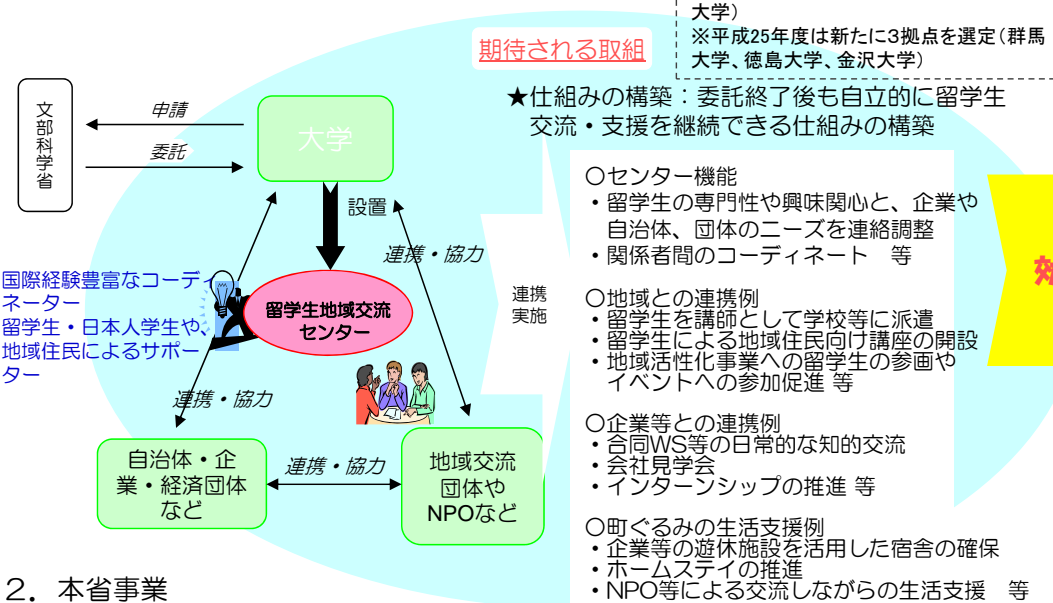
留学生交流拠点整備事業

(平成24年度予算額：51百万円)
 平成25年度予算額：51百万円

事業概要

大学等が、自治体やNPO、ボランティア団体等と連携し、地域の核となる国際交流拠点を整備して、留学生と日本人の学生・児童生徒及び地域住民等との交流を深めながら、地域一丸となって、生活面や就職、教育活動・地域活動への参画支援等の留学生支援を行う仕組みの各地での構築を支援。

1. 委託事業（全国数カ所をモデル整備）



期待される効果

- 地域における関係機関の連携促進
- 中・長期的な視野に立った留学生獲得のための環境整備の促進
- 地元企業への就職等優秀な留学生の地域への定着促進
- 留学生の事業・イベント等への参画でのユニークな視点の導入等による地域活性化
- 優秀な留学生との深い交流による若者等地域住民の国際化の促進

2. 本省事業

- 全国会議の開催（取組事例の報告、情報共有）
- 「『留学生の街』づくり推進委員会」の設置
 - ・モデル事業の選定
 - ・留学生の街（委託事業実施地域）へのアドバイザー派遣

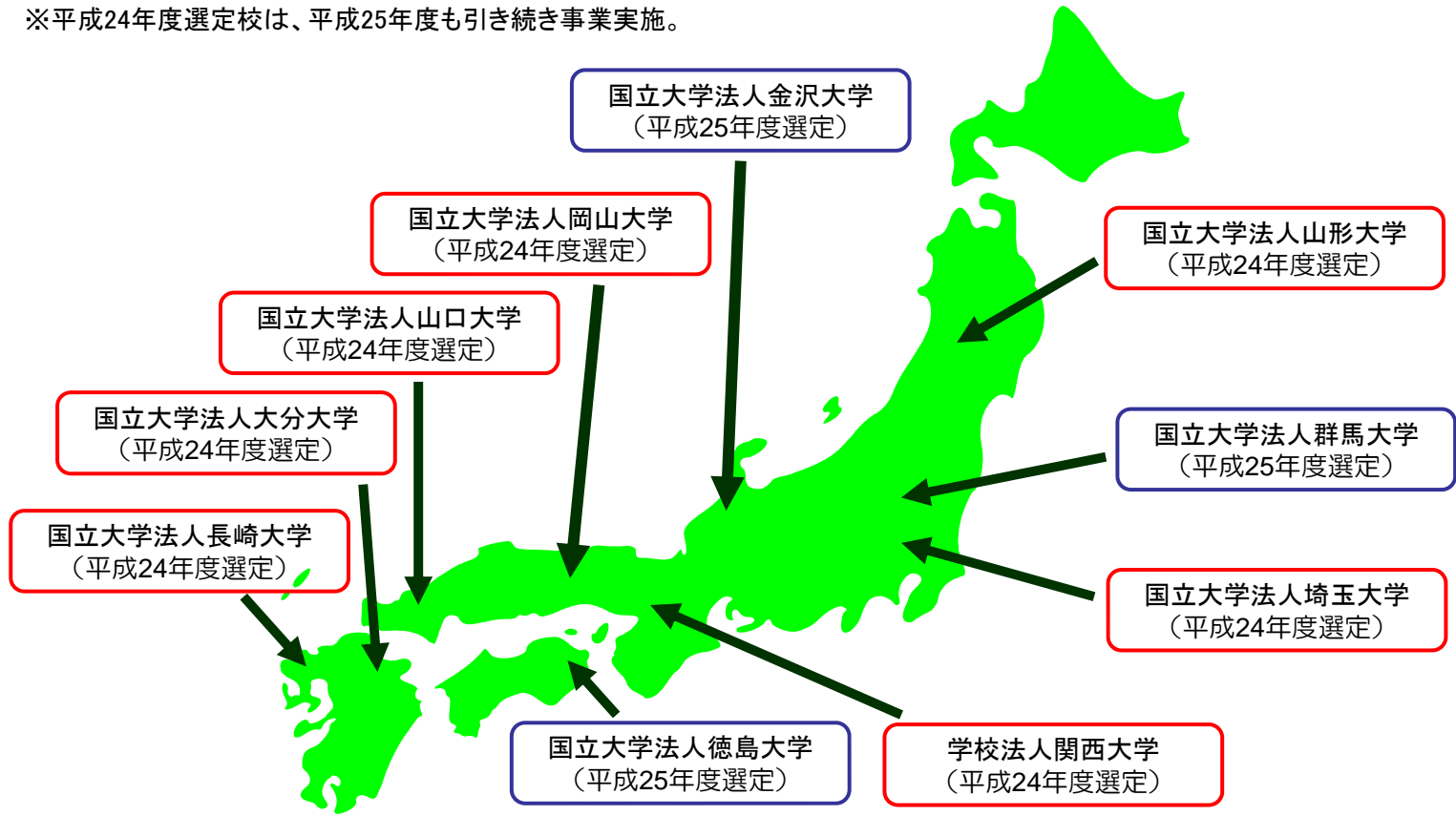
留学生交流拠点整備事業委託先

平成24年度選定: 7件

平成25年度選定: 3件

平成25年6月1日現在

※平成24年度選定校は、平成25年度も引き続き事業実施。



「グローバル人材を活用した 関西の活性化を考える」

関西経済連合会労働政策部/一般社団法人アジア太平洋研究所

プロアシストのご紹介

「創造」すること、それが私たちのDNA

2013年8月5日

(株)プロアシスト

代表取締役 社長 生駒京子



(株)プロアシスト

- 設立 1994年4月25日
- 本社 大阪市中央区高麗橋
- 事務所 東京、名古屋、けいはんなラボ
- グループ会社 蘇州宝羅星信息技术有限公司
- 代表者 代表取締役 生駒 京子
- 資本金 5千万円
- 従業員数 140人 (2013年4月現在)
- 取引銀行 池田泉州 三井住友銀行
- 事業内容 制御機器の設計・開発



3Dセンシング&コントロール技術開発
Web技術でのICTシステムの設計・開発

プロアシストの技術

制御技術

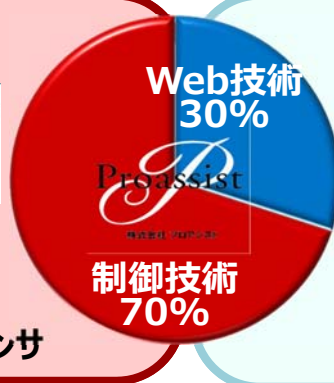


組みみソフト
アナログ・デジタル回路
ASIC・ISI設計、脳波センサ

Web技術



サーバー・通信インフラ
ユーザーインターフェース、デザイン
スマートフォン・モバイル・GPS



技術を融合した多分野への取り組み

脳波センサ
睡眠チェック
メンタルヘルス

妊婦見守り
母子総合見守り
妊婦に安心を

ライフケアプラン
栄養・運動管理
糖尿病、生活習慣病

超音波センサ
位置・入退出検知
プライベートエリア見守り

ロケ探
携帯位置把握
介護支援

愛点呼
飲酒チェック
運転手健康チェック

eラーニング
専門知識の
ブラッシュアップ

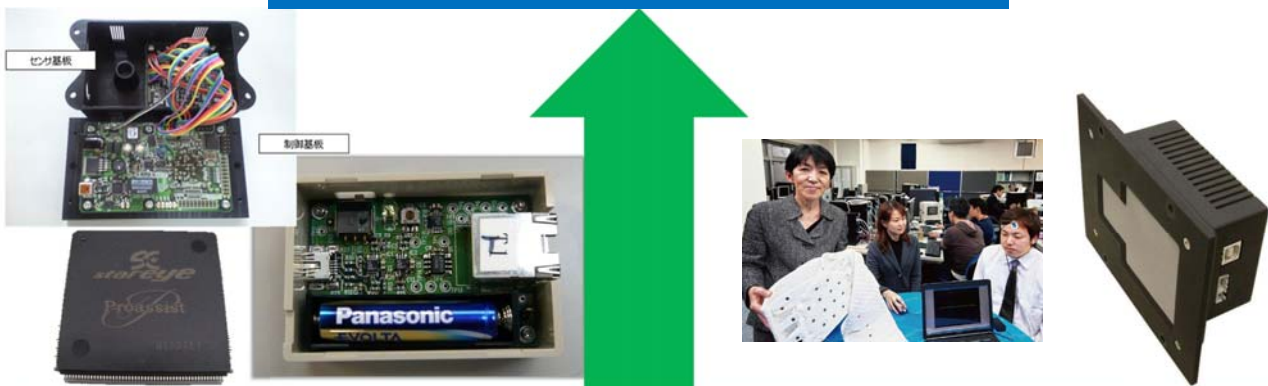
**ノウハウ
伝承職人**
熟練技術・知識移転
作業指示

Proassist Solution

挑戦的事業

競争的研究資金への活用

最新技術への挑戦 自社製品の開発



プロアシスト流

プロアシスト人としての生き方：働き方

年齢・性別・国籍は**社会**は**是**い！

共に働く**人**のことをどれだけ考えられるか？

技術のレベルだけでなく**人**として共に働けるか？

永久的不滅にての**前進あるのみ**の方

そして**信頼と安心と安らぎ**を

社会 人の生活と技術の融合
製品は社会 **（人）** に役立つもの

進化を強みに



世界一有名なコーヒーポット
(The Trojan Room Coffee Machine)
イギリス ケンブリッジ大学の
コンピュータ研究室にあるコーヒーメカ

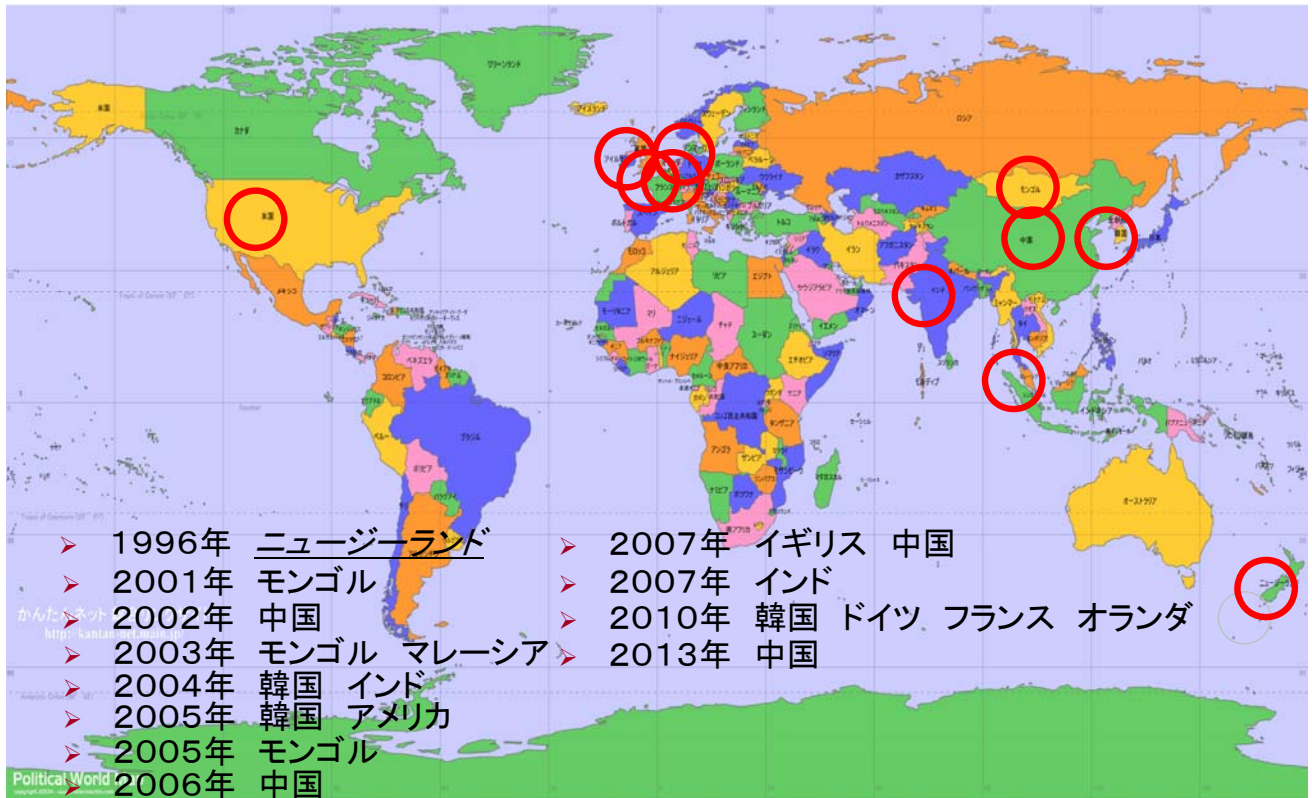
1994年5月

インターネットが市民権を得る

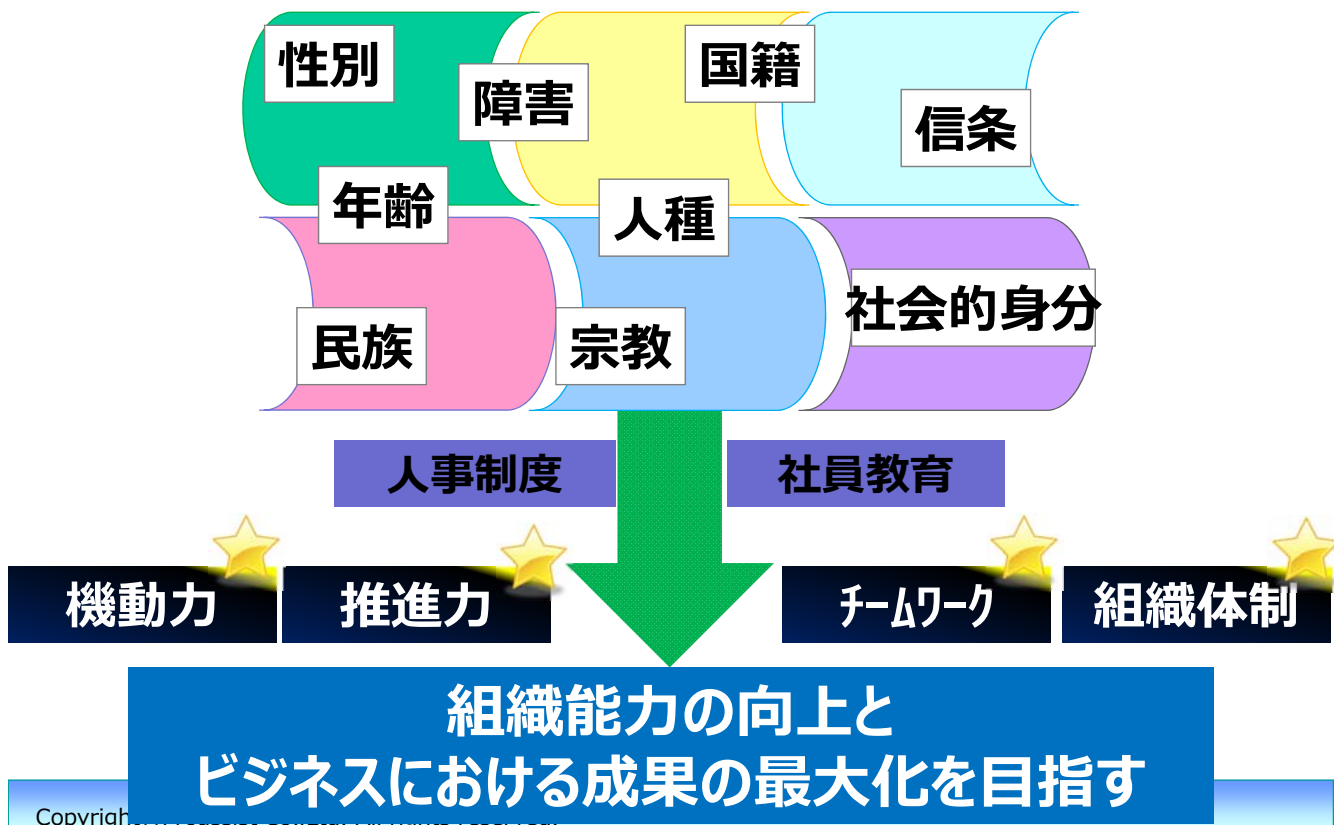
興味を持つ

世界観！グローバルに考える

何が面白いのか？

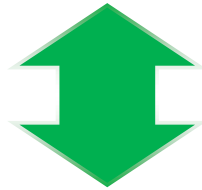


企業体質の革新 グローバル人材とダイバーシティの活用 企業活動のバイタリティの源！



グローバル化への対応

お客様



プロアシスト



Copyright © ICMC Corporation/ICM 2008 1.15.2008



蘇州宝羅星

PGDC

Copyright©P

PGDC (Proassist Global Development Center)

2008年 H/W, S/Wのグローバル設計開発拠点として
TATA Elxsi (インド バンガロール) 内に構築



- ・専任エンジニア・チーム
(お客様の要求仕様に対応可能な能力と経験を保有)
- ・長期/短期的マネジメント対応
- ・グローバル品質対応
- ・専用スペース
(一般の開発エリアから隔離、
入室制限、情報/IPセキュリティ管理の徹底)

蘇州宝羅星 概要

2011年4月 H/W, S/Wのグローバル設計開発拠点として
中華人民共和国の蘇州に100%出資の子会社を設立



- 公司名称 蘇州宝羅星信息技術有限公司
- 成立 2011年4月25日
- 所在地 蘇州工業園區星湖街328号
創意產業園内15号205号室
TEL 0512-6790-3950
FAX 0512-6790-3951
- 董事長 生駒 京子
- 資本金 1.6千万日元(100%proassist投資)
- 交易銀行 瑞穗銀行 三井住友銀行 中国銀行



Copyright©Proassist Co.,Ltd. All rights reserved.

プロアシスト社の ビジョン

- ◆ グローバルな視点を持ち世界と戦える技術及び競争力を持つ
- ◆ パブリックカンパニーへの準備
「100年、200年存続する企業とするための、従業員や顧客に対する義務と責任」
- ◆ 「会社は従業員と顧客のもの、株主は賛同者・支援者」というスタンスを保つ。

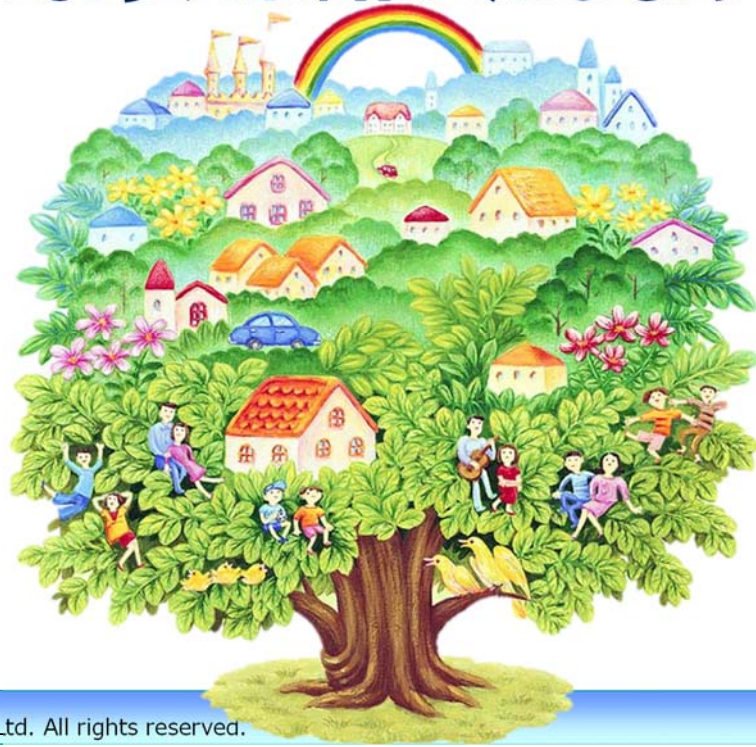
将来に向けて

グローバルな視点を持ち、安心して「仕事」ができる
環境づくり

- 社内の多様性支援プログラムを更に充実

Copyright©Proassist Co.,Ltd. All rights reserved.

**本日は誠にありがとうございます。
心より、感謝いたします。**



Copyright©Proassist Co.,Ltd. All rights reserved.

「グローバル人材を活用した関西の活性化を考える」

関西への留学生は関西の活性化をもたらすのか 企業と留学生へのアンケート調査結果から見えてきたこと

2013年8月5日

アジア太平洋研究所 主席研究員・リサーチリーダー
大阪大学社会経済研究所所長
小川一夫

1. 関西への留学生は関西を活性化させるのか？

- ◆高度外国人財を雇用することのメリットは、社員が国際的な視野を持つようになり、職場が活性化すること。
- ◆関西で学び関西に愛着を持った留学生を活用すれば、本人のやる気が高まり、さらなる生産性の向上を通じ、企業の活性化が期待できる。

2. 企業と留学生を対象にしたアンケート調査について

1) 背景と目的

- ・関西への留学生は増加しているが、卒業後に関西企業に就職する留学生の割合は高くない。
- ・その原因を解明するために企業と留学生を対象にアンケート調査を実施。



企業と留学生の分析から両者の間のミスマッチを明らかにし、ミスマッチを解消し高度外国人財が関西地域に定着し、企業内で活用されるための課題を明らかにして支援策を提言する。

3

2) アンケート実施概要

① 企業向けアンケート

『高度外国人財の活用に関するアンケート調査』

対象: 大企業560社、中小企業569社 合計1129社

回収数: 100件 アンケート期間: 10月上旬～12月中旬

② 留学生向けアンケート

『留学生の就職に関するアンケート調査』

対象: 留学生が多い関西の7大学(京都、大阪、神戸、関西学院、関西大学、同志社、立命館) 5,395名 回収数

415件 アンケート期間: 10月上旬～12月下旬

4

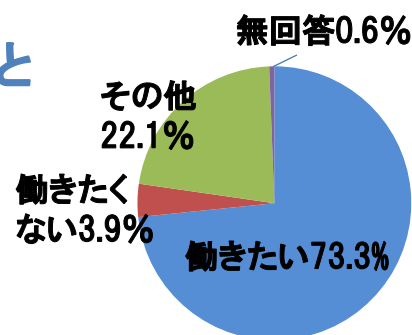
3)アンケート調査結果からわかったこと

①関西は魅力的

関西を留学先に選んだ理由は「関西の持つ雰囲気が好き」(54.7%)、「関西の生活環境がよいから」(47.7%)

関西で働きたい留学生は多い(73.3%)

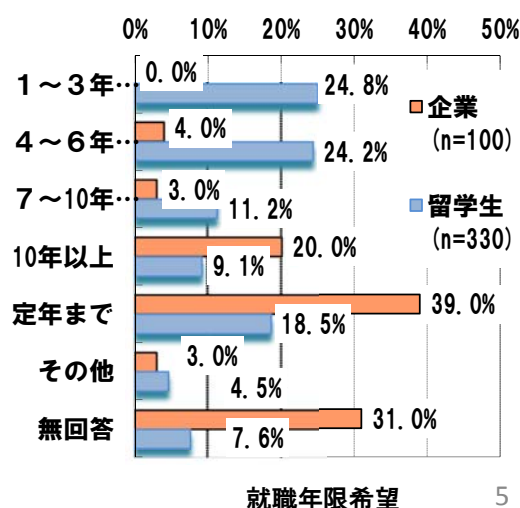
その理由は「関西で暮らしたいから」が突出(67.8%)



関西での就職希望 (n=330)

②就業年数にはミスマッチあり

企業側は外国人材に長く働いてもらいたい(10年以上希望企業は59%)
しかし、留学生側は短期間、日本で働きたいと考えており(6年未満49%)、ミスマッチがある。



就業年限希望

3)アンケート調査結果からわかったこと(続)

③希望職種

技術系職種:企業側、留学生側共、研究開発、生産・製造の希望多い

事務系職種:企業側、留学生側共に「貿易実務」「翻訳・通訳」、

「商品・サービス開発」で希望が多い

全体としてみれば双方の希望にミスマッチは大きくないとの見方もできる。ただし、ミスマッチを論じるには企業業種・規模、留学生の専攻の視点も重要。

上位職種	企業(今後活用したい職種) n=100				留学生(希望職種) n=415		
	大企業	中小企業	製造業	全体	文系	理系	全体
1位	研究開発 23.0%	貿易実務 21.1%	研究開発 42.5%	研究開発 22.0%	貿易実務 42.2%	研究開発 61.4%	貿易実務 33.7%
2位	生産・製造 17.6%	通訳・翻訳 21.1%	通訳・翻訳 22.5%	生産・製造 15.0%	商品・サービス 開発28.7%	システム開発・ 設計25.0%	研究開発 26.9%
3位	商品・サービス 開発14.9%	調査・コンサル ティング21.1%	生産・製造 22.5%	商品・サービス 開発14.0%	通訳・翻訳 24.3%	生産・製造 23.5%	商品・サービス 開発23.9%

※回答数:大企業74、中小企業19、製造業40 文系251、理系132、※非製造業は無回答・その他で73.7%を占めた。

3) アンケート調査結果からわかったこと(続)

④ 期待する能力／生かしたい能力

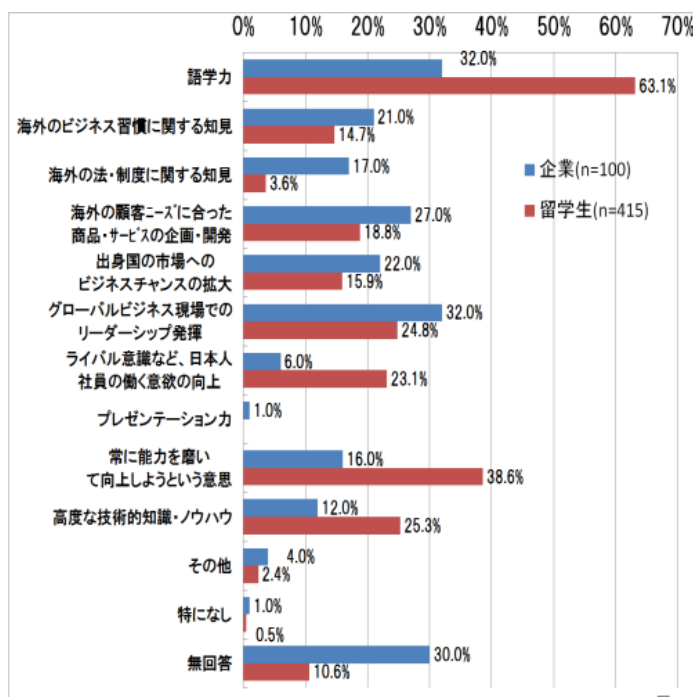
◆ 企業：

語学力をはじめとして海外においてビジネスを展開するために必要な能力

- ビジネス習慣
- 法制度、
- 顧客ニーズのくみ取り、
- グローバルビジネス現場でのリーダーシップ発揮 等

◆ 留学生：

語学力が最も多い



3. 高度外国人財活用への課題と提言

1) 留学の入口から出口までの幅広い情報提供の必要性

- ・ 学業に関する留学案内に加えて、日本企業での就職に関する情報もあわせて提供するプログラムを作り、情報発信を行う必要

2) 留学生と企業の多様なニーズを実現する仕組みづくり

- ・ 企業と留学生の間には情報ギャップ(受け入れ可能業種等)が存在する。双方向にコミュニケーションできる場を設けることにより、留学生と企業の効率的なマッチングが可能となる。
- ・ 企業の規模・業種、留学生の専門分野によって就業へのニーズは異なる。多様なニーズを満たすためには、高度外国人財に加えて“準”高度外国人財の供給も必要。そのためには就業教育を充実させる。

3)大学によるきめの細かい留学生就職支援サービスの提供

大学は質の高い研究水準を維持し、海外からの優秀な留学生を引きつけるとともに、留学生が日本で働くために必要な雇用慣行、就職活動方法に関する説明会を開催し、日本語の習得やコミュニケーション能力向上への支援も行う必要がある。

【立命館アジア太平洋大学の事例】

○卓越した語学能力(日本語、英語、母国語)

- ・日・英のいずれかの基準言語で授業を受けるほか、英語で入学しても正規プログラムで日本語の授業があり大学3・4回生では日英いずれの言語でも専門科目の授業を受講できるよう教育。

○生活の場におけるコミュニケーション能力の涵養(国際教育寮 AP House)

- ・留学生は学生生活や日本の生活習慣、マナーやルールを学ぶため、入学1年目をAP Houseで過ごす。日本人は希望者が入寮。

○大学によるきめの細かなサポート

- ・入学から出口までのワンストップ支援

9

4)就業期間のミスマッチ解消には、企業による外国人の定着率向上への取り組みも重要

◆製造業D社、P社、金融業・M社への面談調査を実施 一定着率向上へどのように取り組んでいるのか？

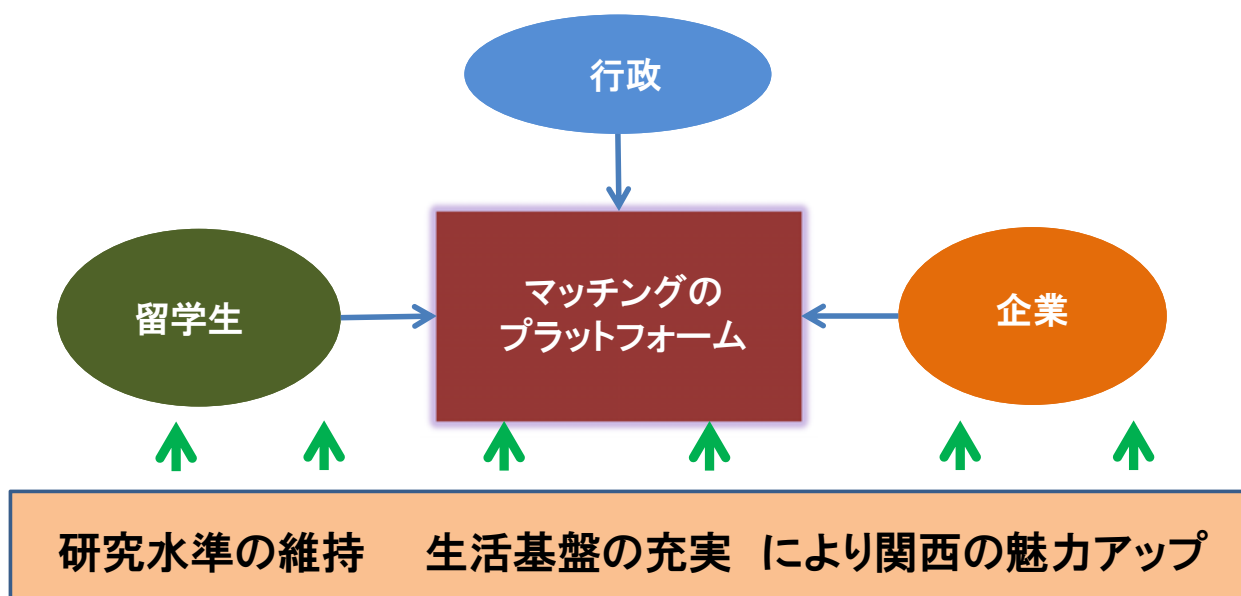
- ・外国人財に対して1年に1回、人事部門が面談し課題解決 (M社)
- ・これまでに蓄積してきたグローバル人材のキャリアパスを整理し、将来のキャリアパスを提示(D社)
- ・「多様性推進室」との連携により、より長く働ける仕組みの構築。
「育成計画書」を職場で作成し、採用センターで面接を実施。不安やキャリアパスについての悩みを共有、解決。メンター制度(職場の先輩クラスの人をメンターに指定し、相談に乗れる体制)
(離職率30%→5%)(P社)

5)外国人にとって快適な生活環境の整備により関西の魅力をアピール

- ・生活環境の良さを始めとする関西の魅力を大事にすることが、留学生が関西に定着する上で重要。
外国人にも使い勝手の良い子育て・教育・医療体制等の生活インフラを充実させ、外国人の長期にわたる就労を生活面からサポートする必要あり。**長年の課題であるが未実現？**
- ・国・自治体も在留資格要件の緩和やワンストップサービスによる手続きの簡素化を通じて、外国人の定着をサポートする必要あり。

11

高度外国人財の有効活用へのスキームイメージ



12

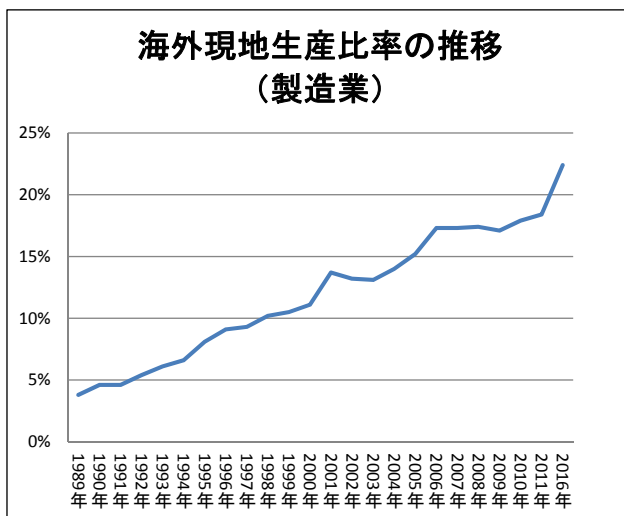
「グローバル人材活用運営協議会」設立の取り組み

2013年8月5日

公益社団法人 関西経済連合会グローバル人材育成・活用委員長
日東電工(株)相談役 竹本正道

現状認識 一企業の海外シフトの加速一

■企業においては、生産拠点の移転だけでなく、新興国も含めて市場の海外シフトが加速している。



(出典: 経済産業省「平成23年度企業行動に関する調査」)

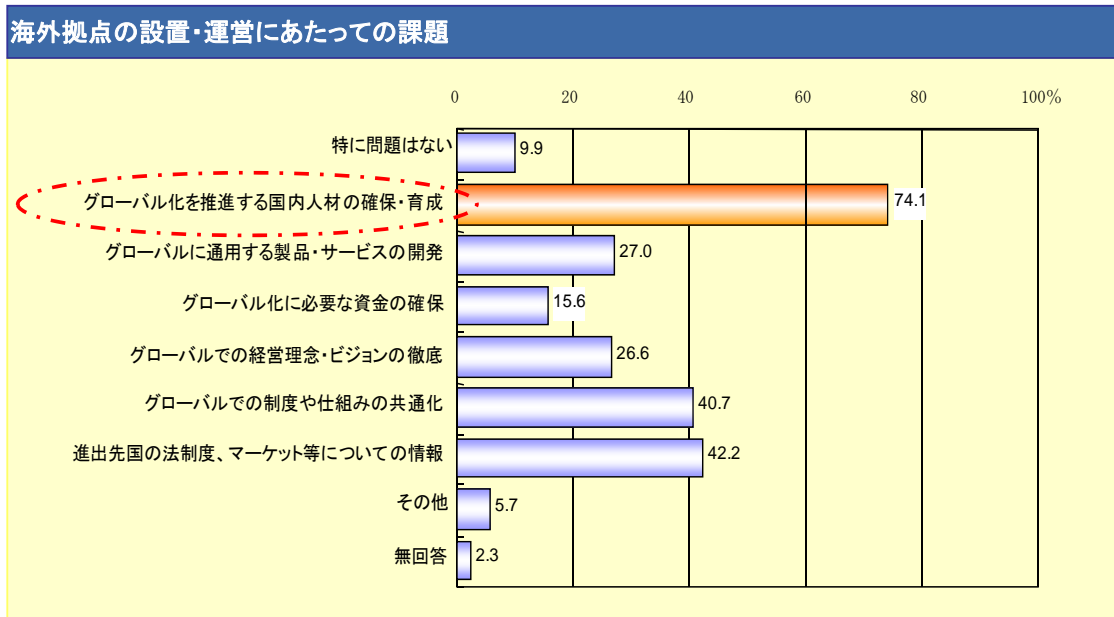
今後、5年間最重要地域として位置づけている国・地域

国名・地域1
1. 中国(香港を除く)
2. 香港
3. 韓国
4. 台湾
5. シンガポール
6. タイ
7. その他ASEAN
8. インド
9. その他アジア
10. オセアニア

(出典: 経済産業省「国際化指標」検討委員会報告書)

現状認識 —グローバル人材の重要性—

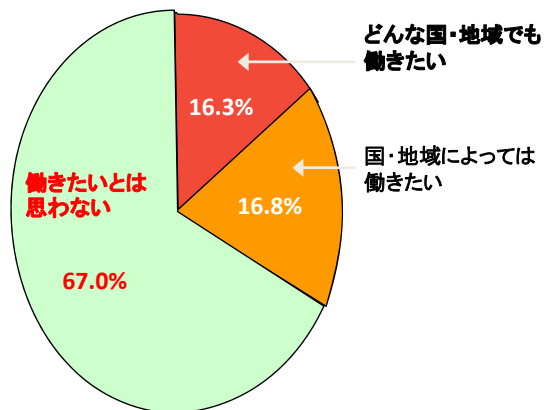
■ 日系企業の最大の課題は「グローバル化を推進する国内人材の確保・育成」



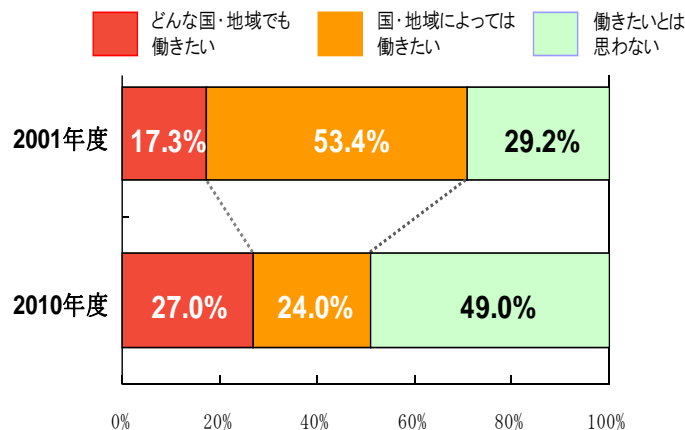
(出典: 経済産業省「グローバル人材育成に関するアンケート調査」)

現状認識 —内向き志向の日本人社員—

- ビジネスパースンの3人に2人が海外で働きたくない。
- 新入社員の約5割は「海外で働きたいと思わない」



(出典: 産業能率大学「ビジネスパースンのグローバル意識調査」2010年)



(出典: 産業能率大学「新入社員のグローバル意識調査」2010年)

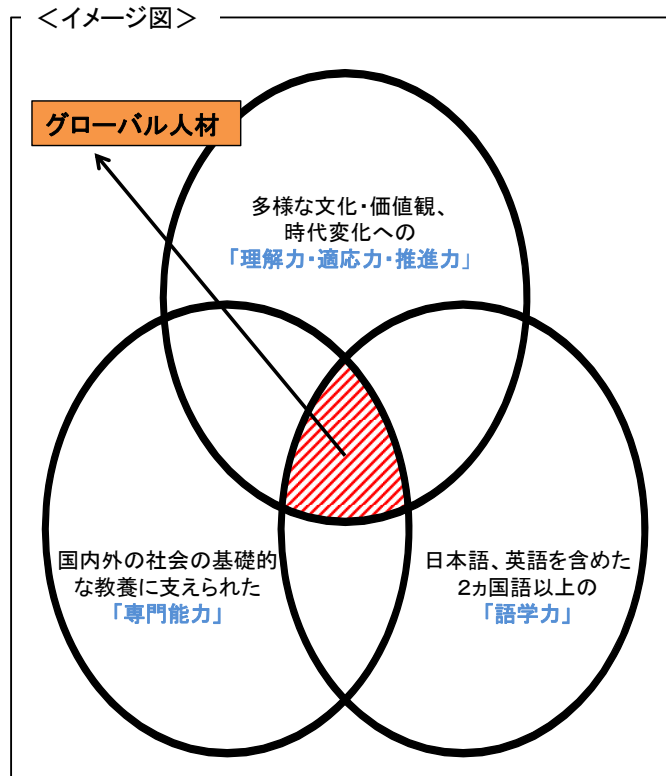
「グローバル人材」とは

関経連では、国籍を問わず、以下の3つの能力をあわせ持つ(修得中の場合を含む)人材を「グローバル人材」と定義した。

○多様な文化・価値観、時代の変化への
「理解力・適応力・推進力」

○国内外の社会の基礎的な教養に
支えられた
「専門能力」

○日本語・英語を含めた2カ国語以上の
「語学力」



【出典】「産学官協働事業による留学生の就業支援の強化に向けて」(関西経済連合会、2012年11月)

5

なぜ、「グローバル人材活用運営協議会」を立ち上げたのか

<設立>

2013年6月20日

<なぜ、「グローバル人材活用運営協議会」を設立したのか>

- 日本にいる留学生が国内で就職する率は約2割
就職先を地域別に見ると約半数は東京であり、大阪は約1割
- グローバル展開する企業にとっては、即戦力となる留学生に日本、関西で就職して欲しいというニーズがある
- 留学生の就業支援事業は「点」ではない
- 留学生の就業支援のためには、大学に入学してから卒業、就職に至るまでの「一貫したプログラム」が必要である

「グローバル人材活用運営協議会」を設立

6

協議会の事業5本柱とその目的

(1) 留学生に対する日本語や日本文化の習得促進

- ・低学年次の日本語能力向上の機会提供
- ・日本特有の就職活動の慣習や日本的雇用慣行に関する理解

(2) セミナー・産学交流会を通じた留学生と企業の出会いの場の提供

- ・中堅・中小企業の現場見学による職業観の涵養
- ・産学の出会いの場を提供し、インターンシップ等次のステップへつなげる
- ・採用企業等の裾野を広げる

(3) インターンシップを通じた留学生と企業のマッチング支援

- ・日本企業への就職に対する理解、留学生と企業との相互理解につなげる
- ・採用も想定したインターンシップの提供
- ・マッチングの機会の提供

(4) 日本企業に就職した留学生の定着支援

- ・留学生OB・OG同窓会

(5) フェイスブックによる事業周知と留学生と企業とのネットワークづくり

- ・事業周知とネットワークづくりの場の提供

7

【参考】留学生と企業から見た事業の流れについて

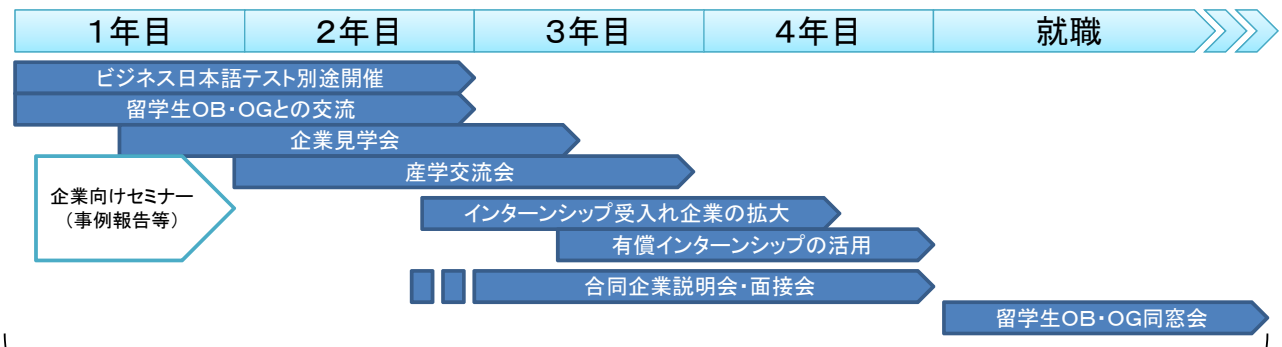
留学生から見た事業の流れ

- STEP 1**
・日本語能力向上、日本特有のシューカツの理解
- ↓
- STEP 2**
・日本企業を知る機会、企業との交流の機会
- ↓
- STEP 3**
・インターンシップを通じた職場体験
- ↓
- STEP 4**
・合同企業説明会・面接会による就職機会
- ↓
- STEP 5**
・日本企業への定着支援

企業から見た事業の流れ

- STEP 1**
・事例報告会、査証の解説セミナーによる留学生受入れの基礎学習
- ↓
- STEP 2**
・産学交流会を通じた留学生との出会いの場
- ↓
- STEP 3**
・企業見学会を通じた企業PRと留学生との交流
- ↓
- STEP 4**
・インターンシップを通じた留学生への理解の促進
- ↓
- STEP 5**
・合同企業説明会・面接会による採用機会

<留学生の入学から卒業、就職以降の協議会事業の流れ>



フェイスブックによる事業周知とネットワークづくり

8

【参考】「グローバル人材活用運営協議会」組織図

